

不当解雇を撤回し
安全・安心のJALを

JAL不当解雇撤回ニュース

No 013号 2011.04.08
発行: JAL 解雇撤回国民共闘事務局
連絡先: 航空労組連絡会事務局
〒144-0043 大田区羽田 5-11-4
フェニックスビル内
TEL: 03-3742-3251 FAX: 03-5737-7819
<http://www.phenix.or.jp/jkkk/>

原告団も被災者支援に最大限協力したい！ ～103名の総会参加で団結を深めました～

4月2日原告団総会が開かれ、大震災後の会社や職場の状況、第2回口頭弁論に向けての今後の予定などを確認しました。参加者は103名(原告 乗員38名、客乗56名、他9名)でした。



総会の冒頭、大震災の犠牲者に対し黙祷をささげました。原告団はこれまで被災地の方からも物心両面で多くの支援を受けてきました。未曾有の危機の中、被災者の方々に対して、出来得る最大限の支援をしたいという気持ちから、すでに航空連の仲間とともに募金活動を始めています。今後も街頭で広く訴えていきます。

「全厚生闘争を支える会」の杉浦書記長から連帯の挨拶を頂きました

<社保庁の525人大量解雇の真相>

全厚生労働組合の杉浦書記長は「社保庁の解雇は社保庁の民営化を利用して、計画されたものです。経験者を一方的に解雇してきたことはJALとよく似ています。国民のために、老後の安全を守ること空の安全を守ることと同じです。ともに頑張りましょう。」

<<参加者の感想>>

社保庁が日本年金機構へ民営化するに当たり、年金業務に詳しいベテランを解雇して、未経験の人たちを1000人以上も新たに採用したこと、機構への採用基準が全く不透明であったこと、公務員であるため、失業保険も払われない、こんなことが許されるのでしょうか。年金記録の不確実さが問題となっている中、知識と経験あるベテランの人たちこそ必要なのはJALと全く同じです。



更生会社でなくなった今、職場は…

再生協力金ではなく、生活調整金として 1.15 カ月+2 万円が支払われましたが、3 月 31 日時点で休職しているものは支払われないのはおかしい。整備の職場でも、低賃金化で展望が持てず、資格を持っている人の退職がつづいているようだ。

大震災以降ライフラインが閉ざされていた浦安地区はようやく復旧の目途がたったようです。良かったですね。

客 乗

1 月から大幅に賃金が下がり、3 月のフライトタイムが 90 時間（数年前は 80 時間で制限）を超えても賃金があがらない。社員の心構えが「お詫びと感謝」から「感謝と安心」に変わったが職場の実態は……。JAL カード 10 万人獲得キャンペーンは 6 月まで継続する。管理職は 2 日続けて新しい企業理念の“洗脳教育”がされ、VTR の後、感想文などを書かされているらしい。平均年齢の若年化で職場の雰囲気が変わっている。1 グループが 5、6 名の小集団管理がされ、いつも同じメンバーでフライトしている。

パイロット

組合要求に応え、震災影響対策で出勤タクシーの利用範囲を再検討する動き。また、会社は「特別無給休職」を提案。整理解雇回避に向けた「ワークシェアリングなどできない」（管財人）と言ったのは大ウソだったか事が明らかに。

5 月に乗員組合は ILO、IFALPA 訪問団に参加する予定です。



先輩の皆さん、ありがとうございました

「JAL 整理解雇撤回を支援する全客室乗務員の会」（現在 171 名）の OB の方たちが激励に来て下さいました。パイロットの OB の方々（約 200 名）からも支援カンパを頂いています。

<今後の日程>

- 4 月 14 日 『声を上げよう 4.14 集会』 旧豊島公会堂 18:30
(新聞労連・JMIU・国公労連・航空連共催)
- 4 月 18 日 乗員裁判 第 2 回口頭弁論 15:30 (地裁前ビラ 14:00)
- 4 月 20 日 被災者救援の街頭募金 品川駅港南口 12:00
日航本社前行動 15:00
- 4 月 25 日 福岡支援共闘会議結成総会
- 4 月 27 日 客乗裁判 第 2 回口頭弁論 11:00 (地裁前ビラ 9:30)



その他 TPP 反対の署名は引き続き取り組み中。よろしく!!

成田の職場向けビラ配布を 4 月 6 日より再開します!!